



加藤  
仲葉

大石  
将弘

柴  
幸男

端田  
新菜

宮永  
琢生

## ままごとの2014→2015

2014年も個人や劇団として、各所で活動を展開したままごと。でも「振り返るにはあまりにいろいろありすぎる!」ということで、ここでは三大ニュースにしぼり、2014年の総括&2015年への意気込みを聞いた。

# ままごとの新聞

newspaper of  
mamagoto

第12号

発行日：2014年12月22日  
発行元：ままごと

「ままごとの新聞」は、柴幸男の作品を上演する団体「ままごと」が不定期に発行する活動報告紙です。

# ままごと わが星

作・演出 — 柴 幸男 (ままごと)  
音楽 — 三浦康嗣 (□□□)  
振付 — 白神ももこ (モモンガ・コンプレックス)

2015年 5月16日[土] - 6月14日[日]  
三鷹市芸術文化センター 星のホール  
2015年 7月18日[土] - 20日[月・祝]  
香川県立小豆島高等学校 体育館特設ステージ

ままごと  
mamagoto

www.mamagoto.org  
www.wagahoshi.com

— まずは小豆島のお話から。

2014年は7・9月に滞在制作しました。

**宮永** 7月は僕と柴君が『わたしの星』の稽古中で行けなくて。  
**大石** だから最初はどうしようと思いましたが(笑)、昨年の小豆島と象の鼻(での「スイッチ」)の経験があったから、まあなんとか。

**新菜** 一緒に小豆島に来てくれたメンバーも良かったよね。初めての土地なのに状況にすぐ順応して、でも作品をつくることにもどん欲な人たちで。

**柴** きもだめスイッチはどうだったんですか？

**大石** 以前、島で肝試しをしていたら聞いて、それとスイッチを組み合わせたら面白そうだなと皆で話して。それで、真っ暗な夜の町を歩きながら恐る恐るスイッチを押すと何が起きる! という企画が生まれたんです。

**端田** 大人が41名、子供が34名も参加してくれました。  
**柴** 今後もきもだめスイッチ、できたらいいですね。ほかに地元のお祭りや幼稚園のお泊まり会など、町の行事に呼ばれることが増えて、それもよかったです。

です。

— 一方で、東京では8月に『わたしの星』が上演されました。

**柴** 現役高校生と一緒に普通に稽古するだけじゃなく、いろんなことを考えながらやったので面白い公演になったと思います。なかちゃん(加藤)が高校生の面倒をよく見てくれて。

**加藤** やっぱり大人とやるのとは違いましたね。でも自分も一緒にゼロから階段を上がっていく感じで、それは良かったです。

**柴** その感覚は、ある意味小豆島の活動と近くて。僕らのことをよく知らない人たちと何かを一緒につくる時、まずいろいろ説明しなきゃいけないし、それによって自分たちの活動に立ち返ることがありますが、『わたしの星』でも同じ状況になりましたね。

— また、年の始めに戯曲公開プロジェクトもスタートしました。

**柴** 『あゆみ』をはじめ、戯曲の上演許可申請は2、3倍に増えましたね。ただ、もうちょっと演劇界とか劇作家界的に、戯曲がフリーでいいのかって議論が起きるかと思ったけどなかった



# ままごと & 柴幸男の代表作 『あゆみ』&『朝がある』が ついに映像化!

HEADZよりご注文の方には、それぞれ初回特典として

『あゆみ』オリジナルポストカード、『朝がある』ドキュメンタリーDVD 付き!!



## ままごと『あゆみ』

2011年12月7日[水] - 9日[金]  
横浜赤レンガ倉庫1号館 3Fホール

作・演出 — 柴幸男

CAST — 秋葉由麻 / 黒宮万理 (少年王者館) / 鈴木亜由子 (星の女子さん) / 長沼久美子 / 藤吉みわ (劇団ズッキン娘) / フタヲカマリ (劇団あおきりみかん) / 真嶋一歌 (リジッター企画) / 吉田愛 (オイスターズ)

2008年の初演以降、全国各地で上演され続けている柴幸男の代表作でありマスターピース『あゆみ』をDVDにパッケージ。1人の女性の一生を、数人の女優が入れ代わりながら、歩き続ける時間軸に沿って演じていく。そのストイックでシンプルな構成から零れ落ちる女優たちの個性が作品に多面的な魅力を与えています。本作品では、2011年に上演された横浜赤レンガ倉庫での公演を収録。《歩く》ことから浮かび上がる一人の女性の「はじめの一步」から「さいごの一步」までをどうぞお楽しみ下さい。

フォーマット: DVD  
企画番号: play 6 / HEADZ 196  
価格: 税抜価格 ¥2,500+税  
発売日: 2014年11月12日(水)  
仕様: デジパック+16Pブックレット

コメント: 畑澤聖悟 (劇作家・演出家) 渡辺源四郎 (商店店主)

“あゆみ”座談会掲載: 『あゆみ』歴代出演者 (初演経験者の黒川深雪 & 内山ひろ&中島佳子、長編版参加の高橋ゆうこ、そして今年誕生した青年座版の椿真由美) による座談会。



ままごと+三鷹市芸術文化センター presents  
太宰治作品をモチーフにした演劇 第9回

## 『朝がある』

2012年6月29日[金] - 7月8日[日]  
三鷹市芸術文化センター 星のホール

作・演出・音楽 — 柴幸男

CAST — 大石将弘

ままごと2年振りの長編作品として上演された『朝がある』。本作は、太宰治の小説「女生徒」をモチーフに創作されました。本作は、朝の一瞬を、そこに存在するものすべての、思考、世界を、舞台に閉じ込めようという挑戦です。語り部は、物質も、現象も、生物も、等しく扱い、時間と距離を自由に行き来し、今、ここに、なにが、どのようにして「ある」のかを語ります。2012年に上演された三鷹市芸術文化センター星のホールでの公演を収録。

フォーマット: DVD  
企画番号: play 7 / HEADZ 197  
価格: 税抜価格 ¥2,500+税  
発売日: 2014年11月12日(水)  
仕様: デジパック+16Pブックレット  
コメント: 坂本美雨 (ミュージシャン)

www.mamagoto.org  
www.faderbyheadz.com



## NEXT

### ◇宮永琢生【ディレクター】

TPAM2015 宮永琢生ディレクション  
BricolaQ『演劇クエスト・横浜トワイライト編』  
@横浜創造都市センター1F  
2015年2月9日[月]-15日[日]  
http://bricolaq.com  
www.tpam.or.jp/2015/

### ◇柴幸男【構成・演出】

舞台人材育成事業とよた演劇アカデミー  
『タイトル未定』  
@豊田市民文化会館 小ホール  
2015年2月22日[日]  
www.cul-toyota.com

### ◇柴幸男【審査員】

マクカルプレゼンツ  
『劇王天下統一大会 2015  
ベイシティロワイヤル in KAAT』  
@神奈川芸術劇場 KAAT 大スタジオ  
2015年2月27日[金]-3月1日[日]

### ◇柴幸男【作・演出】

演劇的工場夜景ツアー『ひかりとけむり』  
@小倉港 関門フェリー「かんもん」 船上  
2015年3月6日[金]  
www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp

### ◇大石将弘【出演】

サンプル『蒲団と達磨』  
@KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ  
2015年3月6日[金]-15日[日]  
http://samplenet.org

### ◇加藤仲葉【制作】

市民と創るスケッチ群像劇  
『話しグルマ』  
@穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール  
2015年3月14日[土]・15日[日]  
http://toyohashi-at.jp

### ◇柴幸男【講師】

平成26年度文化庁東アジア文化交流使  
@蓬蒿 (ボンハオ) 劇場 (中国・北京)  
2015年3月中旬~下旬  
※「東アジア文化交流使」として、北京にて現地の俳優とともにワークショップや講演を行います。

### ◇柴幸男【作・演出】・端田新菜【出演】・宮永琢生【製作総指揮】・加藤仲葉【制作】

ままごと『わが星』  
@三鷹市芸術文化センター星のホール  
2015年5月16日[土]-6月14日[日]  
@香川県立小豆島高等学校 体育館特別ステージ  
2015年7月18日[土]-20日[月・祝]  
www.wagahoshi.com

## 編集後記

この座談会は11月某日、『THEATER ZOU-NO-HANA 2014』の滞在制作期間中に、象の鼻テラスで港を見ながら行われました。さて、次号第13号より『ままごとの新聞』、リニューアル予定です! どうぞお楽しみに。(熊井)

企画・編集=ままごと 構成=熊井玲 デザイン=西山昭彦

です(笑)。でもチェルフィツチュの岡田(利規)さんなど戯曲の件で興味を持ってくださった方もいるので、いずれ何かできたらと思ってるんですけど。そして2015年は『わが星』再々演があります。

ま、一つの作品を東京と小豆島の2カ所で行うことになるので、どちらも違う意味で結果が残せたらと思います。新菜 今回私は企画運営にもかかわっているのでスタッフさんとの対話が増えました。そのことが俳優にもフィードバックされるんじゃないかと感じていて。例えばこれまで『わが星』では、音楽に負けないように最大の音量でしゃべっていたんですけど、スタッフさんと話す中で、それはtoo muchだったんじゃないかなと感じて。次は、もつという足し算かけ算引き算ができる気がして、それが楽しみです。

宮永 再々演は劇団にとって初野に入れた作品づくりをしたい。大石 島の道端から、例えばシアターコクーンのような大劇場まで、いろんな形の演劇をやれる人になれたら面白いと思つてます。来年すぐには無理だろうけど(笑)、そうなれるように頑張りたいです。宮永 僕は、来年2月にまたTPAMのディレクターをやります。TPAMの海外展開も視野に入れた作品づくりをしたい。

加藤 2014年は島の人や高校生など、いろんな人たちと演劇をつくることに立ち会えた。2015年は、想いを新たに『夜の演劇』をやります。加藤 2014年は島の人や高校生など、いろんな人たちと演劇をつくることに立ち会えた。2015年は、想いを新たに『夜の演劇』をやります。

柴 劇団としては『わが星』を頑張りますが、個人的には戯曲を書き下ろす予定もあり、また今年始めた戯曲公開プロジェクトは、実は僕の戯曲をいろいろな人上演してもらって、戯曲同時上演プロジェクトの布石なので、それを始動させたいなど。自分の戯曲を自分の演出で見せるだけじゃなく、僕の戯曲をある種の道具としてほかの人に使ってもらおうようにするのが目標です。